

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 53番
- \*交読文 …………… 53番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 180番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 442番
- メッセージ …………… エリエゼル - 花婿の元へと導く助け主(創世記 24:56-67)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 427番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 …………… 来週よりクリスマスアドベント(降誕節)に入ります。
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを出て、天から下って来るのを見た。また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、「見よ、神の幕屋が\_\_\_\_\_と共にあり、神が\_\_\_\_\_と共に住み、\_\_\_\_\_は神の民となり、神自ら\_\_\_\_\_と共にいまして、\_\_\_\_\_の目から涙を全く拭いとして下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のが、すでに過ぎ去ったからである」。すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしは\_\_\_\_\_を新たにする」。また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである」。そして\_\_\_\_\_に仰せられた、「事はすでに成った。わたしは、アルパでありオメガである。初めであり終りである。かわいている\_\_\_\_\_には、いのちの水の泉から価なしに飲ませよう。勝利を得る\_\_\_\_\_は、これらのものを受け継ぐであろう。わたしは\_\_\_\_\_の神となり、\_\_\_\_\_はわたしの子となる。(黙示録 21:1-7)

アブラハムの老僕エリエゼルは、無事リベカの所へ導かれ、縁談も決まったが、使命はまだ終わっていません。『あくる朝彼らが起きた時、しもべは言った、「わたしを主人のもとに帰らせてください。』(54節)リベカの家族にしてみれば、この僕の行動は、何から何まで唐突すぎるように思えただろう。ある日突然訪ね来て、リベカを嫁として下さいと申し出て、それを自分達が了承した事さえ規定外なのに、了承を得たその翌日には、もうリベカを連れて帰る、というのだから。「娘は数日、少なくとも十日、私どもと共にいて、それから行かせましょう」と言ったのも、無理はない。しかし、この老僕はやはり知恵深く、判断は正しかったのだ。リベカが家での最後の日々を過ごす内、この唐突な申し出を受けるのはやはり不安だ、一度も見た事の無い国、会ったことの無い男性に嫁いで行くのは、やはりおかしい、といった思いが募ってしまうかもしれない。彼女はその時、あまり実感が湧かなかつたかもしれないが、これから彼女が入ろうとしている家は、祝福に満ちた永遠の栄光の家であり、彼女は国々の母となろうとしている。彼女が生来の家を出て、そこに嫁いで行くのは、遥かに素晴らしく、榮譽で、幸いな事なのだが、彼女自身、まだよく分かっていない。私達もそうだ。主イエスにあって天の御国へと嫁いで行く事が、どれ程素晴らしく、榮譽に富んでいるのかを知らず、生来の場所で日常を送っている内に、聖なる「その気」が失せてしまうものだ。この老僕はそれを知っていたから、せっかちで思いやりが無いと思われる事を恐れず、速やかに連れて行こうとしたのだ。聖霊もまた、人の目から見たら幾分せっかち過ぎるのでは、思いやりが無いのでは、と思えるような導き方をされる時もあるが、それでも、それに従うべきだ。何故なら、聖霊の導きは最善であり、完璧であり、私達の生来の家である”世”に対する”思いやり”は、永遠の莫大な榮譽を逃してしまう損失につながるからだ。

最終的な判断はリベカ本人に委ねられたが、リベカは即座に行く事を表明した。それで彼女はめでたく栄光の家系に加えられた。永遠の御国の事柄は、即断、即決、即行動こそ、成功の秘訣である。アブラハムは割礼の契約が与えられた時も、イサクを捧げなさいと言われた時も、即決・即行動したのに対し、ロトは、滅びるべき町にいたらだと未練を残して、積み上げてきた財産を全て失ってしまい、ロトの妻は、滅び行くソドムの町をじっくり眺めたために、塩の柱となって、永遠にそこに留まる事になってしまった。主の思いは、私達の願いや、私達の思う最善をはるかに超えて高い。(イザヤ 55:6-9) 結局私達は、自分を降ろして御言葉に従い、御心を優先させる事こそ、最善と幸いを受ける最も近道なのだ。

こうしてエリエゼルは、リベカを連れて旅立ち、その旅路は安全で速やかだった。彼女が従順だったからだ。私達も、聖霊の導きに従順なら、人生の旅路は安全で、成長も速やかである。エリエゼルとリベカが到着する時、イサクはちょうど野で黙想(原文「スアッハ」: 瞑想する、祈る)をしていた。彼が顔を上げると、らくだに乗った一隊が東方から近づいて来た。その中には、ひときわ美しい乙女がいて、顔や腕は金の飾り輪が飾られ、夕日の光を受け黄金色に輝いていた。イサクは見てどう思っただろう。リベカも目を上げて眺め、イサクを見た。リベカはらくだから下り、野を歩いて迎えに来るあの方は誰ですか、と僕に尋ねると、あの方が私の主人ですと答えたので、リベカはベールを取り出しかぶった。(64-65節)リベカが老僕に与えられた飾りで飾られ、花嫁とされ、花婿の所に導かれて行ったのと同じように、教会はキリストの花嫁であり、その飾りは、柔和で穏やかな霊という隠れた人柄であり(1ペテロ 3:4)、従順であればある程、ますます整えられ、それが完成する時、花婿キリストと対面するのである。(黙示録 21:2-4)イサクは、母サラが産みの苦しみをした幕屋の奥の間へとリベカを導き、彼女を愛し、亡くなった母に代わる慰めを得た。キリストもまた、その妻である教会、すなわち、新しいエルサレムが整えられ、花嫁として自分の幕屋に迎える日を、心待ちに望んでいる。その時、花嫁である教会は、新しいエルサレムとして完成し、神の幕屋で花婿キリストと共に永遠に住み、全ての涙はすっかり拭い去られ、ゴージャスに飾られる。透き通ったガラスのような金で飾られ、土台は全て色とりどりのの宝石であり、門は真珠でできているのだ。私達にとって大事な事は、自前の何かではない。ただ主の血潮によって洗われ、清くされ、飾られる事。そして、聖霊の導きに従順について行き、花嫁として整えられ、御心のままに飾られる事なのだ。

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報

### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

#### 水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト